

株主メモ

- 事業年度 / 毎年11月1日から翌年10月31日まで
- 定時株主総会 / 毎年1月
- 配当金受領株主確定日 / 期末:10月31日 中間:4月30日
- 公告方法
当社コーポレートサイト(<https://www.care21.co.jp/>)に掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人および特別口座管理機関
大阪市中央区伏見町3-6-3
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎0120-094-777

[株式関係のお手続き用紙のご請求]

口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも承っております。

証券代行部テレホンセンター / ☎0120-094-777
株式に関するお手続き / <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

IRメール配信のご案内

ケア21のIRに関するニュース
リリースをメールでお届けします。

こちらから
ご登録
いただけます



株主・投資家、個人投資家向け情報サイト

最新のIRニュース、最新の決算発表のほか、ケア21グループの事業や取り組みをわかりやすく紹介しています。



ケア21 IR情報 検索 <https://www.care21.co.jp/ir/>

主なグループ会社一覧

株式会社 美味しい料理

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル12F
TEL 06-6456-5626 FAX 06-6456-5721

株式会社 ケア21メディカル

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル12F
TEL 06-6456-5617 FAX 06-6456-3366

株式会社 たのしい職場

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル10F
TEL 06-6456-5633 FAX 06-6456-5642

Care21 Vietnam Company Limited

#1712, Prime Centre, 53 Quang Trung,
Nguyen Du, Hai Ba Trung, Hanoi, Viet Nam

株式会社 EE21

〒530-0051 大阪市北区太融寺町5-15 梅田イーストビル5F
TEL 06-6363-2400 FAX 06-6363-2402

株式会社 サポート21

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル10F
TEL 06-6456-5633 FAX 06-6456-5642

株式会社 ケア21不動産

〒101-0042 東京都千代田区内神田3-18-2 アドミラル神田ビル2F
TEL 03-5296-9323 FAX 03-5296-9323



東証スタンダード上場 未来を創造する総合福祉企業

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2
近鉄堂島ビル10F
<https://www.care21.co.jp>



ケア21グループ
コーポレートサイト



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この印刷物は、環境に
配慮し、植物油インキ
で制作しています。

2025

第32期 半期事業報告書

Vol.44

2024年11月1日 ~ 2025年4月30日
証券コード：2373



東証スタンダード上場 未来を創造する総合福祉企業



プレザングラン洗足

株主・投資家の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第32期中間期の業績についてご報告いたします。

当中間期は、施設系介護サービスにおいて入居者数の持ち直しが継続しており、利用控えの傾向にも一定の改善が見られました。一方で、人員確保に要する採用・教育コストや水道光熱費の高止まりといったコストの上昇は継続しており、費用面での経営負担は引き続き大きい状況です。

これらの結果、当中間連結会計期間における連結売上高は236億13百万円(前年同期比7.6%増)、営業損失10百万円(前年同期は6億31百万円の営業損失)、経常損失1億55百万円(前年同期は3億19百万円の経常損失)、中間純損失は34百万円(前年同期は4億70百万円の中間純損失)となりました。

●在宅系事業

市場動向を綿密に分析した上で戦略的に出店を進め、早期黒字化を目指すとともに、M&Aも視野に入れております。こうした中、当社初となる山口県への進出を果たし、新たな地域におけるサービス提供を開始いたしました。

●施設系事業

前期まで続いていた入居ペースの鈍化には一定の改善が見られ回復基調にあるものの、原材料やエネルギー価格の高止まりが継続し、収益性の改善には依然として時間を要する状況です。

●その他事業

31期に開設した、障がいをお持ちの方がいきいきと生活を送る支援を提供する複合サービス施設「リールスガーデン井高野」をはじめとした障がい者支援事業や、次世代を担う子ど

もたちの成長を育む保育事業を中心に、売上・利益の伸長に注力いたしました。

上半期の業績につきましては、売上が前回予想を上回り、営業損失・経常損失も縮小するなど、一定の回復傾向が見られました。しかしながら、最終損益は依然として赤字であり、この現状を厳粛に受け止めております。

今後は、ICTの積極的な活用、電気・備品等に係る間接費の抑制、人材育成を通じたサービス品質の向上、さらには営業力の強化を図り、収益構造の再構築と持続的な成長に向け、改革の実行と成長戦略の着実な遂行に努めてまいります。

引き続き、ご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

— 経営理念 —

1. 福祉・医療・教育・文化の4分野を通じて社会貢献
2. 最大ではなく最高のサービスの提供
3. 人間の尊厳を尊重し、ご利用者本位の真心と優しさのこもったサービスの提供
4. 日本のヘルスケア産業のリーダー企業を目指す
5. 福祉理念と市場原理の融合
6. 現場第一主義
7. 徹底討論・徹底和解
8. 常に考え、変わり続ける
9. 人を大事にし、人を育てる

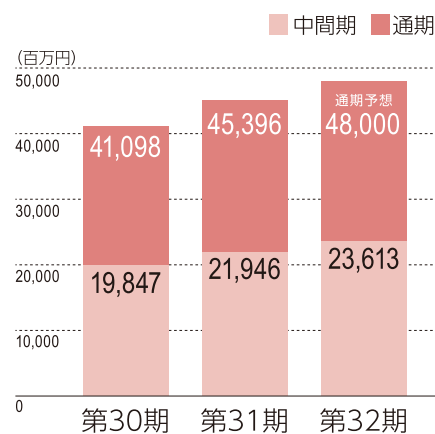
株式会社ケア21
代表取締役社長

依田 雅

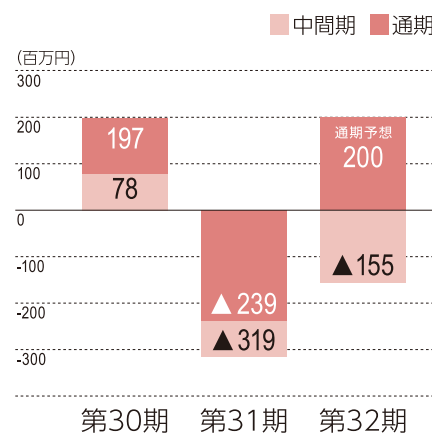


経営指標の推移（連結）

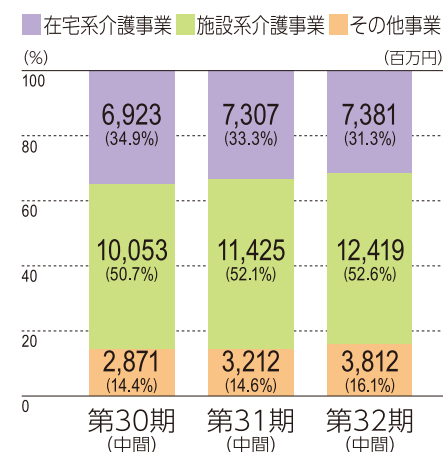
売上高の推移



経常利益の推移



セグメント別の売上高・売上比率の推移



利益還元にもなう当期配当について

弊社の経営成績と財務状況を考慮し、株主の皆様への利益還元の一環として、1株あたり7円の配当を実施することを決定いたしました。

株主優待制度の廃止について

この度、株主の平等性確保の観点から、株主優待制度については廃止し、今後は配当等による利益還元に集約することといたしました。ケア21では今後も株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけ、企業価値の向上に取り組んでまいります。

中間配当金
一株当たり
7円

株主優待制度の廃止時期

2023年10月末時点の当社株主名簿において1単元(100株)以上の保有が確認できる株主様への株主優待品の提供をもちまして廃止させていただきます。2024年10月末時点の株主様への謹呈はございません。

第32期 事業のあゆみ

32期においては、新規拠点の開設および出店エリアの拡大を着実に進め、これまで展開していなかった地域にも新たなサービス基盤を築きました。今後も、地域ごとの介護・福祉ニーズに応じたサービス提供体制を整備し、より多くのご利用者様とご家族へ安心と支援を届けてまいります。

新規拠点

最高のサービスを、新たな都市へ「プレザングラン洗足」

2025年2月、東京都品川区に介護付有料老人ホーム「プレザングラン洗足」を開設しました。都内17か所目、全国では57か所目の有料老人ホームとなります。首都圏でのサービス提供体制のさらなる充実と、地域社会への貢献を目的とした戦略に基づき、出店を果たしました。



ケアやサポートの提供については、24時間の介護・看護に加え、地域医療と連携した緊急時の迅速な対応体制を整えています。開設以降、地域の方々からの関心も高く、計画通りの稼働率で運営を推進しています。

出店エリアの拡大

体制強化による 堅実な新規エリア展開

地域密着型サービスの推進と成長機会の拡大を目的とし、2025年3月に山口県山口市へ新たな訪問介護事業所を開設しました。当社にとって初の山口県進出であり、介護・福祉サービスの提供ノウハウを新エリアへ展開する重要な一歩となりました。

第32期、新エリア開拓を担当する部門に新しい部長が着任して体制が強化。緻密な市場調査と戦略的な候補地選定を実施でき、その結果、需要を的確に捉えたタイムリーな出店が実現しました。

「ケア21山口湯田」



第32期上半期〈第1・2四半期〉新規出店状況

■在宅系事業所 ■施設系事業所 ■障がい者(児)支援・保育事業所 ■関連会社事業所

【関西地区】

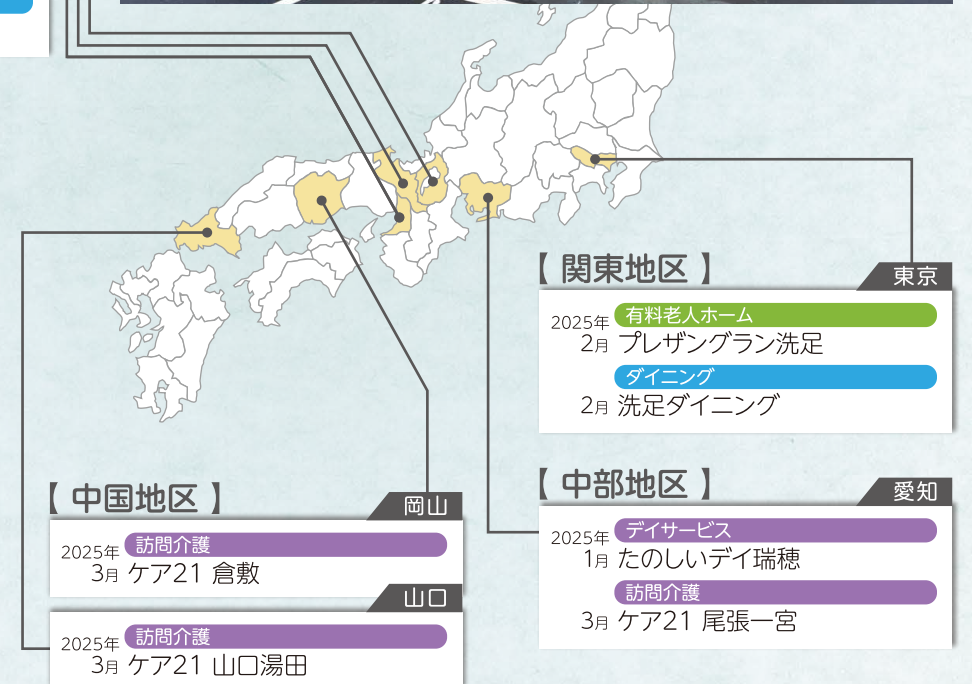
滋賀	2025年 訪問介護 3月 ケア21 比叡山坂本
京都	2025年 グループホーム 2月 たのしい家 太秦
大阪	2025年 訪問看護 1月 ぴ〜す淀川 城東西サテライト 訪問介護 3月 ケア21 泉佐野 訪問看護 3月 ぴ〜す淀川 此花サテライト



たのしい家 太秦



ケア21 山口湯田



第32期3・4四半期 第33期の新規出店予定 (2025年6月時点)

在宅系事業所

デイサービス

2025年	5月 大阪 たのしいデイ姫島
-------	----------------

施設系事業所

有料老人ホーム

2025年	11月 東京 プレザンメゾン篠崎
2026年	5月 京都 プレザングラン京都下鴨

グループホーム

2025年		
5月	大阪	たのしい家 姫島
5月	東京	たのしい家 上高井戸
7月	宮城	たのしい家 仙台上飯田

障がい者(児)支援事業所

放課後等デイサービス・児童発達支援

2025年

8月 兵庫 リールスメイト西宮北口

9月 大阪 リールスメディカル新大阪

個別療育等支援

2025年	10月 兵庫 リールスプラス西宮北口
-------	--------------------

関連会社事業所

ダイニング

2025年	11月 東京 篠崎ダイニング
2026年	5月 京都 京都下鴨ダイニング

第32期中間期 連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (2025年4月30日現在)

資産の部	
科 目	金 額 (千円)
流動資産	12,680,848
現金及び預金	3,610,955
売掛金	6,335,715
商品	17,191
原材料及び貯蔵品	30,109
その他	2,704,664
貸倒引当金	△17,787
固定資産	18,553,833
有形固定資産	12,252,070
リース資産(純額)	7,873,816
その他(純額)	4,378,254
無形固定資産	495,476
投資その他の資産	5,806,287
投資有価証券	841,920
差入保証金	3,256,759
その他	1,707,607
資産合計	31,234,682

中間連結損益計算書 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)

科 目	金 額 (千円)
売上高	23,613,688
売上原価	18,441,256
売上総利益	5,172,432
販売費及び一般管理費	5,183,071
営業利益	△10,639
営業外収益	130,712
営業外費用	275,882
経常利益	△155,809
特別利益	274,710
特別損失	19,963
税金等調整前中間純利益	98,937
法人税等	103,217
中間純利益	△4,280
非支配株主に帰属する中間純利益	29,862
親会社株式に帰属する中間純利益	△34,142

負債の部	
科 目	金 額 (千円)
流動負債	12,373,584
短期借入金	2,350,007
1年内返済予定の長期借入金	2,326,297
未払金	3,628,564
リース債務	860,086
その他	3,208,629
固定負債	14,773,210
長期借入金	5,131,439
リース債務	8,767,063
その他	874,708
負債合計	27,146,795

純資産の部	
科 目	金 額 (千円)
株主資本	3,666,066
資本金	100,000
資本剰余金	1,021,493
利益剰余金	3,035,782
自己株式	△491,209
その他の包括利益累計額	377,870
非支配株主持分	43,950
純資産合計	4,087,887
負債純資産合計	31,234,682

中間連結キャッシュフロー (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)

科 目	金 額 (千円)
営業活動によるキャッシュフロー	817,338
投資活動によるキャッシュフロー	△54,810
財務活動によるキャッシュフロー	△209,621
現金及び現金同等物の増減額	534,185
現金及び現金同等物の期首残高	3,076,769
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,610,955

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要・株式状況 (2025年4月30日現在)

会社概要

設立	1993年11月
社名	株式会社ケア21
英文名称	CARE TWENTYONE CORPORATION
所在地	■大阪本社 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2丁目2番2号 近鉄堂島ビル10F TEL.06(6456)5633 ■東京本社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目6番1号 堀内ビルディング3F TEL.03(3254)5721 ■名古屋事務所 〒467-0842 愛知県名古屋市長久区妙音通 3丁目49番 第2宏和ビル2F TEL.052(858)3021 ■福岡事務所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4丁目10番13号 奥村第3ビル202号室 TEL.092(475)4421
資本金	100,000千円
従業員数	社員:6,303名/非常勤:2,680名(グループ全体)
事業内容	訪問介護事業/訪問看護事業/居宅介護支援事業/ デイサービス事業/小規模多機能型居宅介護事業/ 施設介護事業(有料老人ホーム、グループホーム)/ 福祉用具販売・レンタル及び住宅改修事業/ 軽作業請負事業/ 介護用品・生活雑貨等の通信販売事業/ 介護人財の教育事業並びに紹介・派遣事業/ ダイニング事業/ メディカルサポート事業/薬局事業/ 障がい(児)通所支援・短期入所事業/ 障がい者就労継続支援事業/保育事業/ 不動産事業
取引銀行	りそな銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友銀行 関西みらい銀行 広島銀行 三井住友信託銀行 福岡銀行

役員

代表取締役会長	依田 平	取締役	手代木 啓*
代表取締役社長	依田 雅	常勤監査役	奥田 隆司*
取締役	端山 勝博	監査役	遠藤 昭夫
取締役	山田 耕嗣	監査役	山本 眞吾*
取締役	深貝 亨*		

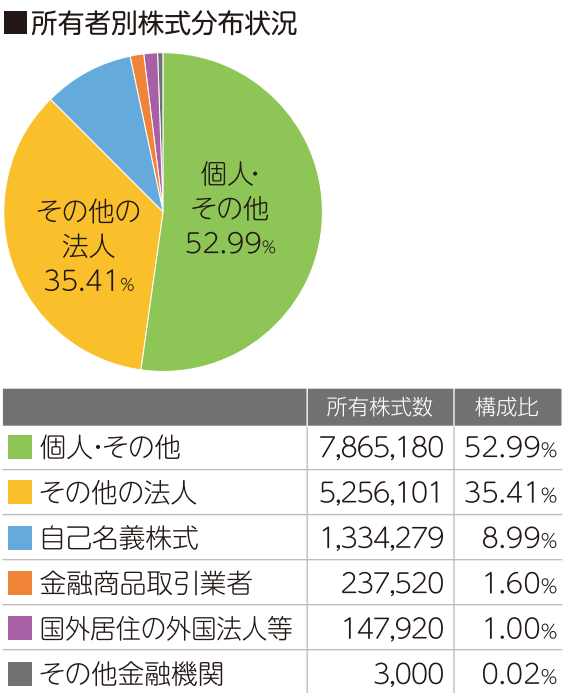
*社外取締役 *社外監査役

株式状況

発行可能株式総数	52,176,000株
発行済株式の総数	14,844,000株
株主数	7,741名

大株主の状況		
株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率(%)*
株式会社浅科依田	3,015,000	20.31
吉田 嘉明	2,142,800	14.43
スターツコーポレーション株式会社	1,480,300	9.97
依田 雅	1,285,900	8.66
アズワン株式会社	700,300	4.71

*発行済株式総数に対する所有株式数の割合



理念を原点に、よりよい社会をめざして

—— 数字では見えない、私たちの姿 ——

ケア21グループは、理念を原点とし、サービスの質と組織運営の両面で持続可能な成長を追求しています。ここからは、数字で捉えきれない価値観や姿勢を、人・地域・環境との関わりの面からお伝えします。

環境

福祉・医療・教育・文化の4分野を通じて社会貢献

持続可能な社会へ。環境への取り組み

ケア21は、介護・福祉サービスを全国で展開するうえで、日々の施設運営における環境負荷低減に努め、持続可能な社会の実現に貢献することを事業責任の一つと位置づけています。現場における各々の行動を環境保全にもつなげるとの意識を醸成し、具体的な取り組みを継続的に推進しています。

日常の意識が、行動を変えるしくみへ

使用電力低減への意識づけ

施設ごとに、電力使用量が一定のピーク値に達するとアラートが鳴るモニタリング機能を導入しています。これにより職員がリアルタイムで電力消費を把握でき、日常業務で節電への意識が自然に高まる仕組みをつくりました。さらに、照明スイッチ付近での節電シール掲示など、日々の小さな配慮を積み重ねることで、全職員の省エネ行動定着と環境意識の浸透を図っています。

調達の段階から、持続可能性を見据えて

電力会社の選定による環境配慮

各事業所の電力供給契約において、電力会社ごとの特性や電源構成、供給の安定性などを総合的に把握。環境負荷の軽減に資する選択を行っています。再生可能エネルギーの比率だけでなく、調達可能性や現場運営との整合性も考慮し、実効性のある電力選定を実現。エネルギー調達の段階から持続可能性を意識し、地に足のついた環境配慮を進めています。

省エネと快適性の両立を、現場から進める

施設内照明のLED化

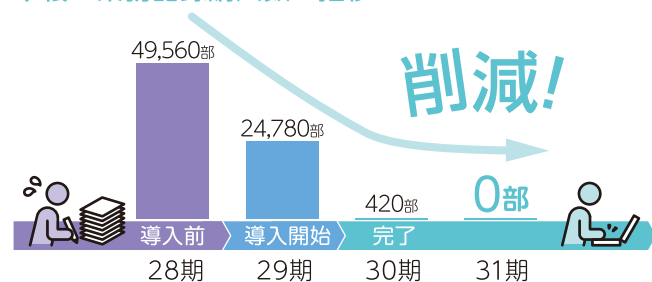
全国の事業所で、使用電力の効率化とCO₂排出量の削減を目的に、照明設備のLED化を着実に進めています。電力使用量を抑制しつつも施設内の明るさや安全性に配慮した、快適な空間づくりを両立しています。

ICTの活用で、紙資源と現場の負荷を同時に削減

介護記録のペーパーレス化

記録業務では、スマートフォン端末などのICTツールを活用し、紙媒体からの移行を進めています。介護記録のペーパーレス化により、紙資源の使用量削減に寄与するとともに、業務効率や情報の即時共有性といった現場の質向上にもつなげています。

◆紙の業務記録購入数の推移



人財力

人を大事にし、人を育てる

一人ひとりの成長が、企業の力に

ケア21グループでは人財こそが企業価値創造の源泉と位置づけ、採用後の研修・育成体制の強化に注力しています。年齢やキャリアを問わず、すべての社員が深い専門性と正しい倫理観を備え、安心してキャリアを形成できる環境を整えることを目指しています。

新卒研修

社会人としての生涯を支える軸を育む



成果発表には管理職も参加。部課長も楽しみながら主体的に関わる、当社の風土が表れた一幕。

新入社員が自信を持って現場で活躍できるよう、入社後2カ月間の体系的な導入研修を実施しています。研修では、介護・福祉に関する基礎知識や接遇マナー、介護技術の習得のほか、当社の理念や行動指針への理解を深めるカリキュラムを通じて、社会人としての土台づくりを支援します。また、現場実習やロールプレイなどの実践的な学習も取り入れ、スムーズな現場配属を実現。さらに、研修の機会が同期同士のつながりを深め、支え



合える関係を築くきっかけにもなっています。福祉の学びだけでなく、人同士のつながりを育む場としても、研修は大きな役割を果たします。

キャリア研修

一人ひとりの未来に寄り添う学びを

社員が自ら可能性を広げ、長期的に成長し続けられる支援策として、段階的かつ実践的なキャリア研修を実施しています。職位や経験年数、専門性に応じ設計された多様な研修プログラムを通じて、自律的なキャリア形成と組織全体の人財力強化を図ります。研修内容を階層別・目的別に体系化することで、実務に即した学びと自己理解を深化させます。



チャレンジキャリア制度

成長が見える化し、未来を描く。15段階のキャリア制度

2023年11月より独自の人事評価制度「チャレンジキャリア制度」の運用を開始しました。介護サービスの質を継続的に向上・維持し、介護現場に従事する従業員一人ひとりの成長とキャリア形成を支援を目的としています。

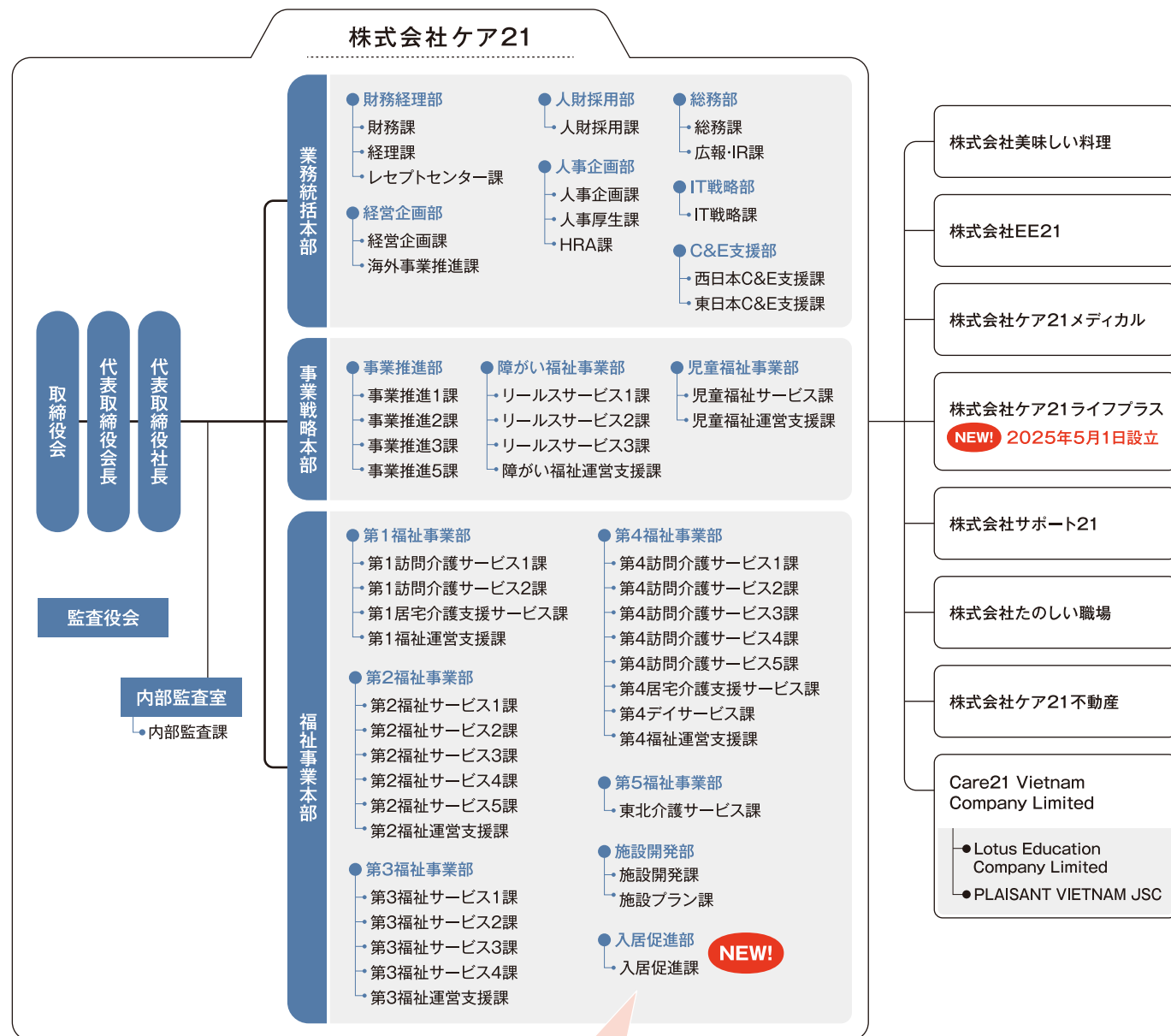
本制度は、日々の業務を通じて培われた知識や技術を、筆記試験・実技試験により可視化。従業員の努力と成果を明確な15段階の評価基準に基づいて公平に評価します。結果は年1回の賞与支給を通じて処遇に反映し、さらに自己評価とフィードバックを通じて、従業員が自らの強みや課題を客観的に把握できる仕組みです。これにより、次なる目標に向けた学びと挑戦を後押しします。



現場主義を支える柔軟で実効性ある運営体制

ケア21は、持続可能で信頼性の高い経営を実現するために、柔軟かつ実効性のある運営体制を整えています。特に、現場第一主義を重視しながら、各事業の特性や役割に応じた体制を構築することで、迅速な意思決定と高品質なサービス提供の両立を図っています。

〈組織図〉 2025年6月時点



▶ 32期 新設

入居促進部

施設系事業の成長戦略として、アプローチからご案内、ご成約までを一貫して担うご案内専任部署を新設しました。業務の専門性と迅速な対応力を高めることで、顧客満足の向上とともに体制の強化を図り、施設系事業の成長力を一層加速してまいります。

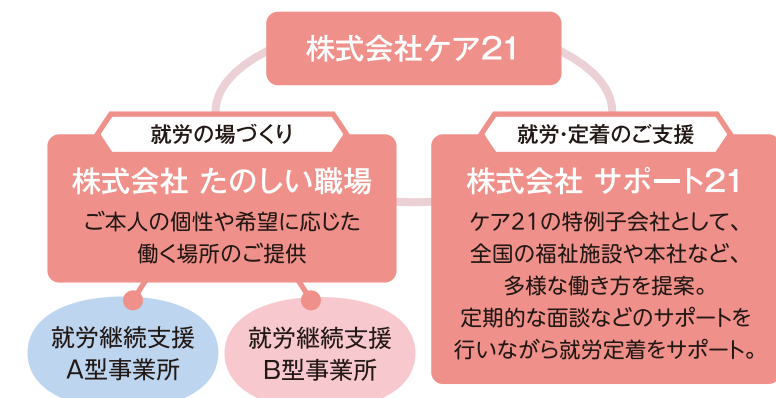
インクルーシブな企業文化をめざして

ケア21は、年齢、性別、障がいの有無、国籍、文化的背景を問わず、誰もが自分らしく力を発揮できる組織づくりに取り組んでいます。多様な価値観や特性が交わり、互いを尊重し補い合う関係性こそが、現場に活力をもたらし、サービスの質をいっそう高めると信じています。

障がい者雇用の推進と、就労機会の拡充に向け、グループ全体で連携して取り組んでいます。

ケア21では、グループ会社との連携により、障がいをお持ちの方の「支援」「就労」「定着」までを一貫して支える総合的な体制を整えています。“自分らしさ”を大切にした就労の場を、仲間とともに築いていきます。

●障がい者雇用 グループ連携図



障害者雇用の促進及び雇用の安定に関する取り組みの実施状況などが優良な企業として「もにす認定」を受けています。

国籍や文化の違いを超えて、多様な個性が活きる組織をめざし、海外人財の雇用と育成に積極的に取り組んでいます。

ケア21は国籍や文化の多様性を尊重し、海外人財の採用と育成を長期的な人財戦略の一環として位置づけています。多様な人財がそれぞれの強みを発揮し、安定して長く活躍できる組織づくりを進めています。

育成 定着

2023年2月、ベトナムに日本語学校「ロータス日本語教育センター」を設立し、語学教育と日本の生活習慣や文化に触れる機会を設けています。来日前から理解と準備を深めることで来日後の戸惑いや不安を軽減し、安心して就業できる環境づくりを支援します。



雇用 育成

ベトナム国内に介護施設を開設予定で、帰国後のベトナム人財がキャリア継続できる仕組みを整備しています。海外からの人財を一時的な労働力ではなく、育成・活躍を長期的に支える仲間として迎え入れることが、当社の基本姿勢です。



プレザングランハノイ (イメージ)



今後も、学び合い、支え合い、ともに成長し続ける風土を育み、誰もが尊厳をもって働ける、開かれた企業文化の実現をめざしてまいります。

